



〒377-8567 群馬県渋川市渋川4418
TEL0279(22)1730(代)
URL <http://www.meguminosono.jp/>
E-mail meguminosono@dan.wind.ne.jp

◎ 巻頭言 ◎



「感謝、そして前進」

理事長 山田 雅人

新年あけましておめでとうございます。本年も良き一年とすることができましよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、今年の秋、恵の園は創立五十周年を迎えます。この五十年の歩みを振り返る時、良い事、きつかった事、悲しい事、腹が立つ事など、様々なことが思い出されます。しかし、たくさんのおかげ様があったことを強く感じます。

そこで、今年「感謝、そして前進」というスローガンを掲げることになりました。一昨年は「より前進」というスローガンを掲げ、

昨年は「常に前進」をスローガンとしたため、三年連続して「前進」をキーワードにするのはいかなものかと正直悩みました。しかし、

この「前進」は、今の恵の園の課題であり、また、五十年のおかげ様に応えていくために、そして、今の日本の社会の状況や福祉ニーズを考えた時に、やはり「前進」がとても重要だと考えました。

私たちは、たくさんのおかげ様に気づかなかつたり、忘れてしまつたり、申し送りが不十分だつたりして、失礼をしてしまうことがあります。あらためて、感謝の振り返りをしつつ、恵の園の原点を大切にしながら、今の私たちに課せられている前進の歩みをしていきたいと思ひます。

さらなる前進・成長・進化のために、本年も、皆様のご理解とお力添えをよろしくお願いいたします。

〈特集〉

『エステル多機能型事業所へ移行』



エステル作業風景

平成三十年四月から障害福祉サービス事業所「エステル」を、現在の「就労継続支援事業B型」に「生活介護事業」を加えた「多機能型事業所」へ移行します。また、渋川市より受託していた渋川市心身障害者(児)デイ・サービスセンター「あじさいの家」は三月で事業終了となります。

「エステル」は、昭和五十三年に渋川市から委託された「渋川市障害者福祉作業所めぐみ」が始まりです。在宅の知的障害者が様々な作業に取り組み、工賃を得て、より自立に向かう施設です。開所後から利用希望者は増え続け、渋川市や親の会からの強い要望もあり、昭和六十



あじさいの家朝礼風景

二年「精神薄弱者通所授産施設めぐみ」に移行。建物は「めぐみ電子工業株式会社」の工場と社員寮を譲り受けました。その後、法律の改正等により事業名を変更。施設の名称も希望の「星」という意味が込められた「エステル」に変更しました。近年は、築四十年以上の建物の著しい老朽化が課題となっていました。

一方、「あじさいの家」は渋川市手をつなぐ育成会の要望を受け、渋川市からの委託により平成三年に開設。授産施設等への通所が難しい重度の心身障害をもつ方々が、より豊かな生活を送れるように、そして家族の負担を少しでも軽減するようにとの目的で設置されました。建物は既存の「めぐみ」の生活棟に増設しました。

渋川市より十年ほど前から、市の財政上の問題などにより、委託終了の話が出始め、利用者の受け皿をどうするのか渋川市と恵の園とで協議を重ねてきました。本来であれば、渋川市に責任をもつてニーズに添えていただきたかったところですが、曖昧な返答が繰り返され、明確な答えをいただけませんでした。そうした中でご家族の「行き場がなくなるのではないか」といった不安や「長年親しんだこの場所を離れたくない」との想いは年々高まってきました。ご家族の不安を解消するため、恵の園では自助努力として、隣接する「エステル」を多機能型事業所として、「あじさいの家」の利用者の受け皿を作り、さらなるニーズへの対応に添えていくことにしました。

建て替え工事中の現在は、「カナン」や「地域交流ホーム」の作業棟を利用して支援を行ない、新しい建物の完成を心待ちにしています。

社会福祉法人 恵の園

職員募集!!

正職員・パート

①介護・支援職
②看護職
③理学療法士

私たちと一緒に働きますか?
平成28年に「特別養護老人ホームカナン」を新規に開設します。既存の施設も合わせたくさんの方の応募をお待ちしております。

見学は
随時対応可

事前に
ご連絡下さい。

お気軽にお問い合わせ下さい!!
meguminosono@dan.wind.ne.jp

■資 格: ①不問(パート可)
②正: 准看護師

■給 与: 当法人規定による
経験に応じて優遇

■時 間: ①交代勤務②日勤のみ

■休 日: 勤務表による(4週6休)

■待 遇: 各種保険完備、各種手当支給
賞与年2回、職員寮あり

〒414-1801 渋川市 渋川 4 4 1 8
☎0279-22-1730
http://www.meguminosono.jp
採用担当 眞部

**ご支援とご協力を
お願いいたします**

会員の方には年4回発行の「一粒の麦」(恵の園ニュース)をお送りします。

ご協力方法

1. 正会員：毎月一口500円
2. 賛助会員：随時随額または年会費1000円のワンシートサポート
3. 募金箱の設置協力
4. 使用済み切手収集も

恵の園後援会 ☎0279-22-2823

東京女学館ワークキャンプ

恒例の東京女学館ボランティア部のワークキャンプが、8月21日から24日までの3泊4日で行なわれました。中学2年生から高校2年生までの生徒9名、先生2名が来園され、各施設に分かれて活動をしていただきました。今回は高齢者施設のカナン・ゆうかりも加わり、新しい施設での活動も増えました。

最終日前夜の利用者との交流会では、カラオケ、ビンゴゲーム、余興として今回初めて手品を披露していただき、利用者の方々から驚きと大きな歓声が上がりました。締めくくりの花火ではみんなで輪になり、

線香花火などを楽しみました。

今年度で高校2年生の6名がボランティア部を卒業になるとのことです。来年は新しい生徒も加わり、新しい出会いを利用者の方々、職員も楽しみにしています。



利用者との交流会

グループホームのセキュリティ強化

恵の園では障害のある方が地域で生活しているグループホームが4つあります。入居されている方はそこで生活しながら、日中は各事業所へ通って仕事をしています。地域で暮らすことは生活圏の拡大というメリットがある反面、災害、人災におけるリスクを伴います。今までは防災訓練、緊急連絡の方法などを入居者と確認しながら、大きな事故もなく生活していますが、さらに安全で、安心できる環境を提供するにはどうすればよいか検討を続けていました。



入居者と機器の確認

これにより緊急時にはガードマンが駆けつけます。今年度は災害時の避難訓練に併せ、ホームセキュリティサービスを活用した防災、防犯訓練を実践していきます。入居者と意見を交換しながら、より安全で安心できる生活の場を目指していきます。

福祉現場からの主張
季刊誌
SAKIGAKE
定価 300円
定期購読会員募集中!
発行 社会福祉法人 恵の園



特別栽培
季節の野菜
赤城のリンゴ
社会福祉法人恵の園
シャロー 〒379-1103 赤城町津久田1700
販売問合せ TEL.0279-56-8510 FAX.0279-56-8520

納涼祭

夏の恒例行事である納涼祭を7月28日に開催しました。今年は前日準備から雨が続き、屋内での実施となりましたが、当日は沢山のお客様に足を運んでいただきました。

アトラクションでは、地元明保野地区の芳扇会様に夏の風物詩である盆踊りを披露していただきました。来場者も一緒に盆踊りを踊り、会場は一体感に包まれ、利用者を含め多くの方々が盆踊りを楽しみました。

八木原八木節保存会様には、笛や木樽を叩いての軽快なリズムで踊りを披露していただきました。

フラダンスを披露してくださったのは、イ・カ・マーリエ様。小さなお子様から大人の方までが踊る優雅なダンスに会場の雰囲気も南国ムードに包まれました。

最後は地元のお父様方で結成された明保野おやじバンドの皆さんによる歌や演奏。アンコールも飛び出す程、会場は大盛り上がりでした。

がりででした。

模擬店では焼きそばや唐揚げ、クレープ等多くのメニューが完売となり予想以上の反響でした。

ご出演いただいた方々やボランティアの皆様、備品の貸与をしてくださった業者様などのお力添えがあり、たいへん盛り上がった納涼祭となりました。この場をお借りしてあらためて感謝申し上げます。

ご来場いただいた皆さま、開催にご協力くださった皆さま、誠にありがとうございました。



会場は南国ムード

親笑レクリエーション大会

六月二十八日(水)、ベテル・グレイスホーム・あけぼのホームの三施設合同で親笑レクリエーション大会を開催しました。

今回で三回目となる雅杯では、おなじみの風船バレーに加え、各施設長の顔写真等を魚に見立てた魚(?)釣りゲームという新しいゲームを行いました。

このゲームに関しては、担当者間で、身体を動かす軽スポーツだけでなく、ゲーム感覚で行なえる競技が必要との思いから考えたものです。毎年あまり積極的に参加されない方々も「懐かしいなあ、昔よく釣りに行ってたんだよ!」と進んで参加され、笑顔を見せていました。

また、多くの方が楽しみとしているパン食い競争も三種類のパンに加え、パンでは飲み込みに不安のある

方に配慮し、食べやすいプリンを用意しました。こちらも大好評で、パンより人気があるのでは?と感じるほどでした。

毎年行なっていることも、一工夫するだけで、また違った表情の利用者の方々に会える。この喜びは何事にも代え難いということをしみじみと感じたイベントとなりました。



高得点を狙って糸を垂らす